令和２年（2020 年）の伊豆鳥島の火山活動

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・警報センター

硫黄山火口から白色噴気、島の南岸に変色水域が確認されましたが、火山活動の活発化を示す様子はみられませんでした。

○ 噴火警報・予報の状況、2020 年の発表履歴

2020 年中変更なし	噴火予報（活火山であることに留意）

○ 2020 年の活動概況

11 月 24 日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、硫黄山火口から白色噴気が確認されました（図１）。また、伊豆鳥島南岸に薄い黄緑色の変色水域が認められました（図２）。

図１　伊豆鳥島　硫黄山火口の状況（11 月 24 日）

図２　伊豆鳥島　南岸の変色水域（11 月 24 日）

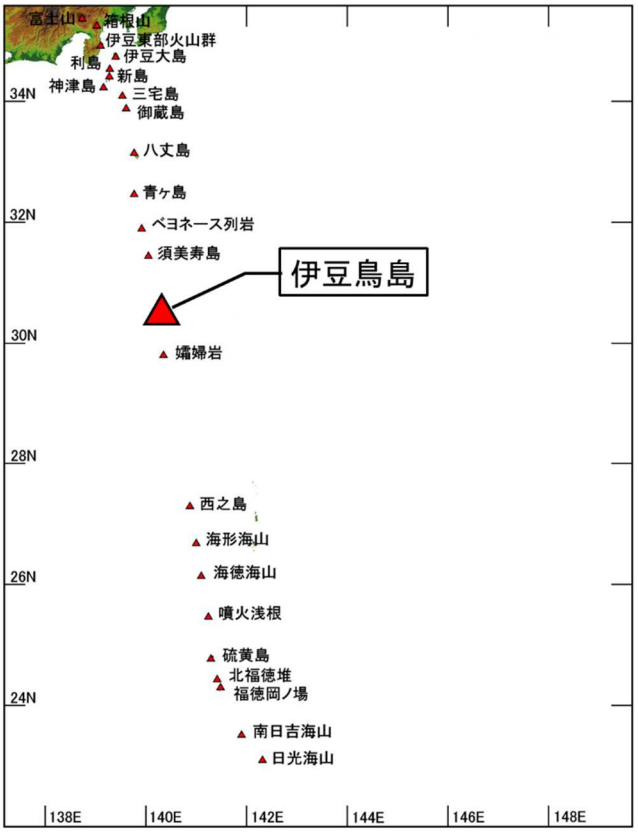

図３　伊豆・小笠原諸島の活火山分布と伊豆鳥島
地図は日本活火山総覧（第４版）から引用。

この資料は気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。
資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。
https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html
この資料は、海上保安庁のデータを利用して作成しています。